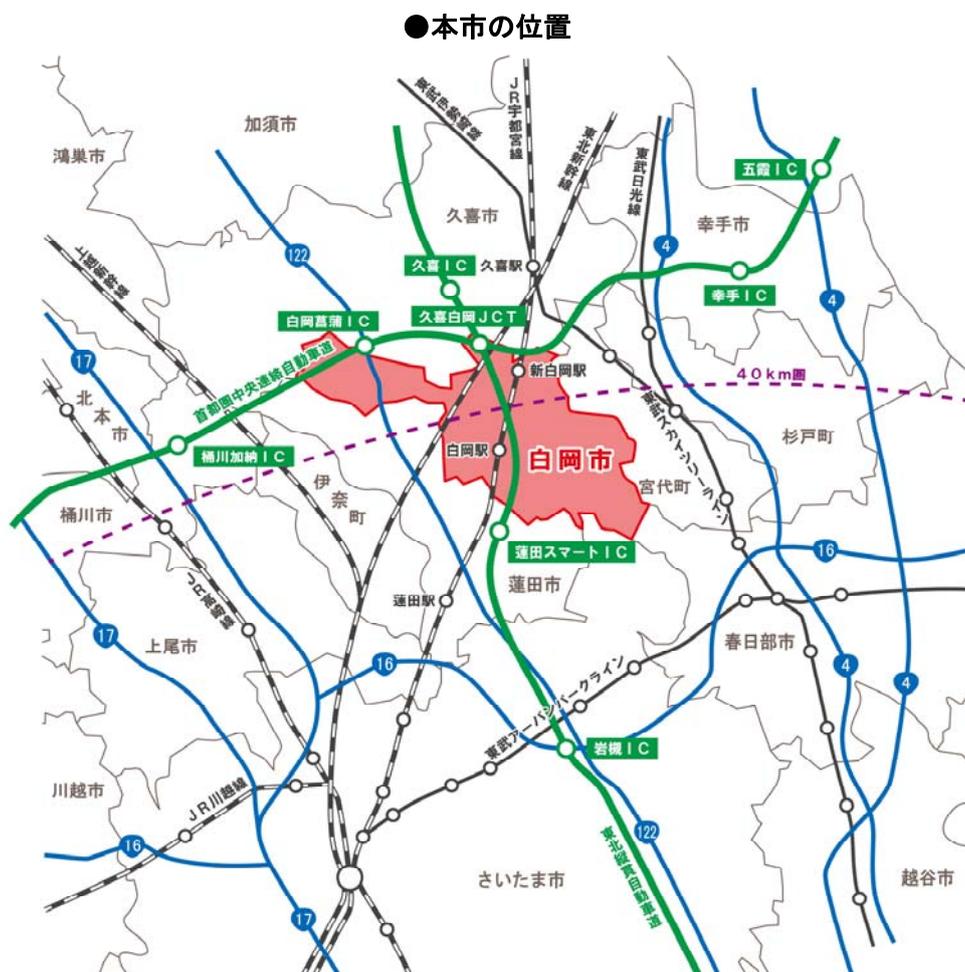


第1章 白岡市の現況

1 白岡市の位置

本市は、埼玉県東部の首都圏40kmに位置しています。市域は、東西に長く、南東部をさいたま市及び春日部市、南西部を蓮田市、北部を久喜市、東部を宮代町とそれぞれ接し、中央を東北新幹線、JR宇都宮線及び東北縦貫自動車道（以下、「東北道」という。）が縦貫しています。

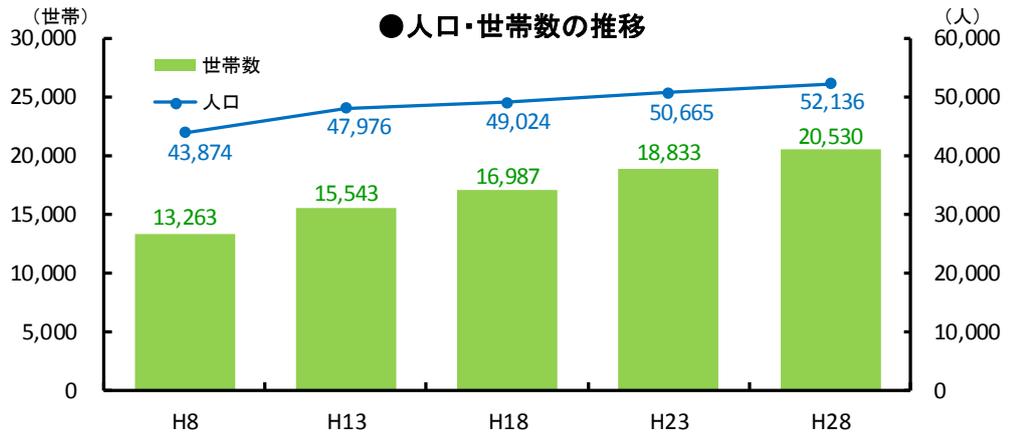
平成27年（2015年）3月には、JR宇都宮線がJR東海道線へ乗り入れする上野東京ラインが開通し、同年10月には、首都圏中央連絡自動車道（以下、「圏央道」という。）の埼玉県内全線が開通したことにより、交通の利便性が向上しています。



2 人口推移・動向

(1)人口・世帯数

平成28年（2016年）4月現在の人口・世帯数は、52,136人、20,530世帯となり、人口、世帯数ともに増加傾向にあります。1世帯当たりの人数は、平成8年（1996年）は3.33人/世帯でしたが、平成18年（2006年）には2.90人/世帯と1世帯当たり3.0人以下となり、平成28年（2016年）には2.54人まで減少しています。

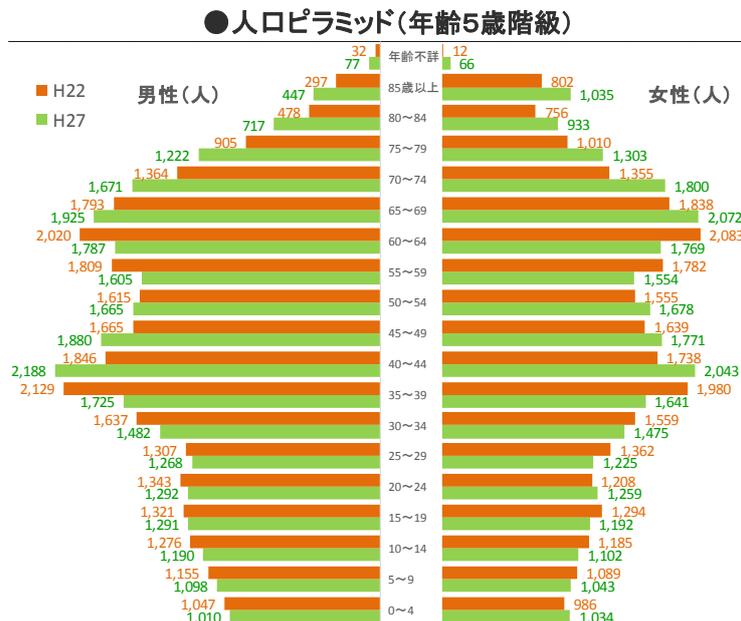


※各年4月1日の数値 資料：住民基本台帳

(平成24年(2012年)の住民台帳法改正により人口・世帯数に外国人が記録されるようになったため、平成23年(2011年)以前の人口・世帯数においても外国人登録人口を含めている。)

(2)年齢別人口

平成27年(2015年)国勢調査における年齢別人口は、年少人口(0～14歳)6,477人、生産年齢人口(15～64歳)31,790人、高齢人口(65歳以上)13,125人です。高齢人口比率は25.5%となっており、平成22年時の12.7%を上回っています。

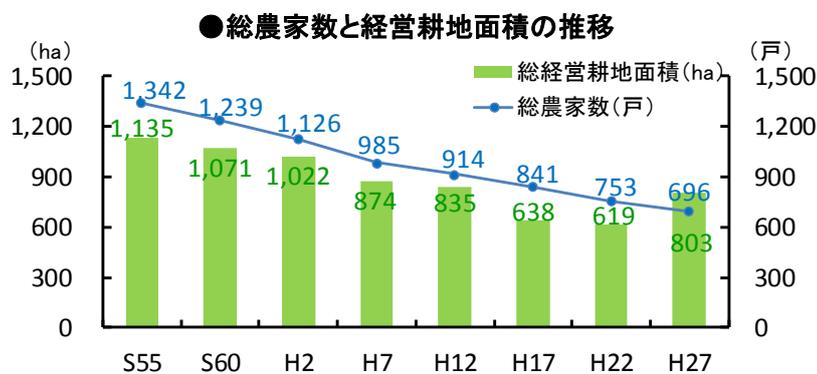


資料：平成27年国勢調査

3 産業

(1) 農業

農業は、平成27年（2015年）現在、総農家数696戸、総経営耕地面積803haですが、後継者不足等から減少傾向にあります。

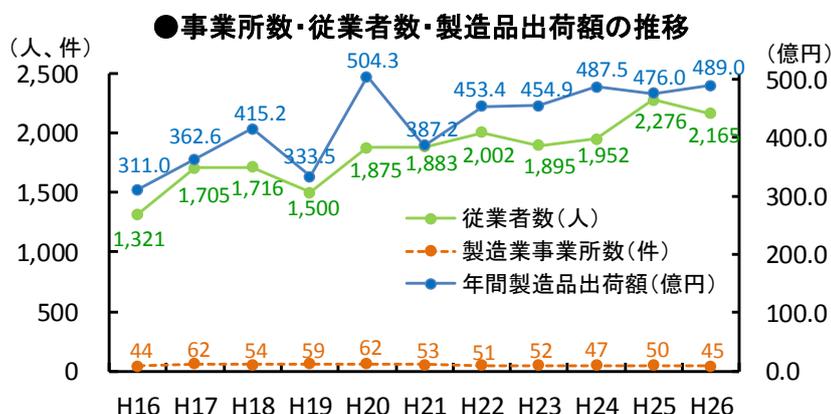


資料: 農林業センサス

(2) 工業

工業は、平成26年（2014年）現在、従業者数4人以上の事業所数45件、従業者数2,165人、年間製造品出荷額約489億円です。

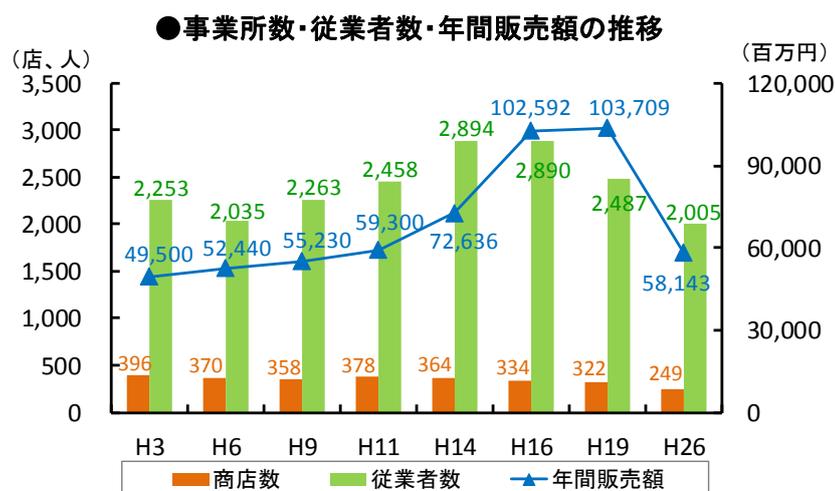
近年の推移としては、事業所数、年間製造品出荷額は横ばい、従業者数は増加傾向にあります。



資料: 工業統計調査

(3) 商業

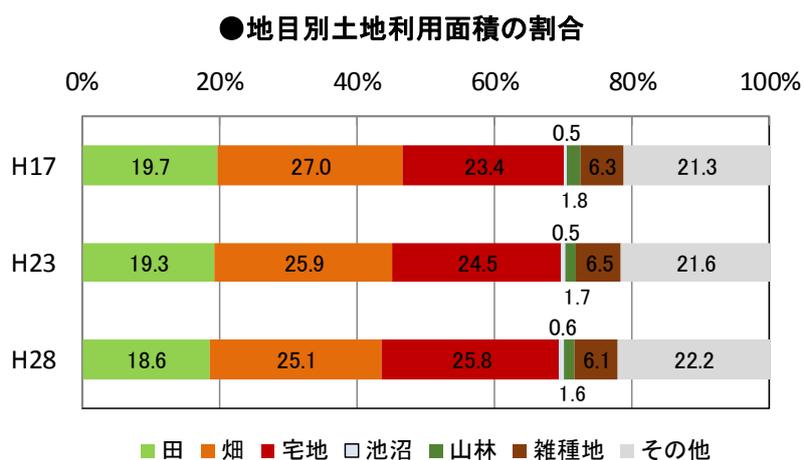
商業は、平成26年（2014年）現在、小売業と卸売業を併せて、商店数249店、従業者数2,005人、年間販売額約581億円です。



資料: 商業統計調査

4 土地利用

土地利用は、平成28年（2016年）現在、総面積2,492haのうち、農地43.7%（田18.6%、畑25.1%）、宅地25.8%、雑種地6.1%、山林1.6%、池沼0.6%、その他22.2%となっています。平成23年（2011年）との推移をみると農地は1.5ポイントの減少、宅地は1.3ポイントの増加となっています。



資料：固定資産税概要調書

5 交通体系

(1) 鉄道

鉄道は、JR宇都宮線が本市のほぼ中央を縦断し、白岡駅と新白岡駅の2駅があり、平成27年度（2015年度）の1日平均乗降客数は、白岡駅が約26,000人、新白岡駅が約13,100人となっています。

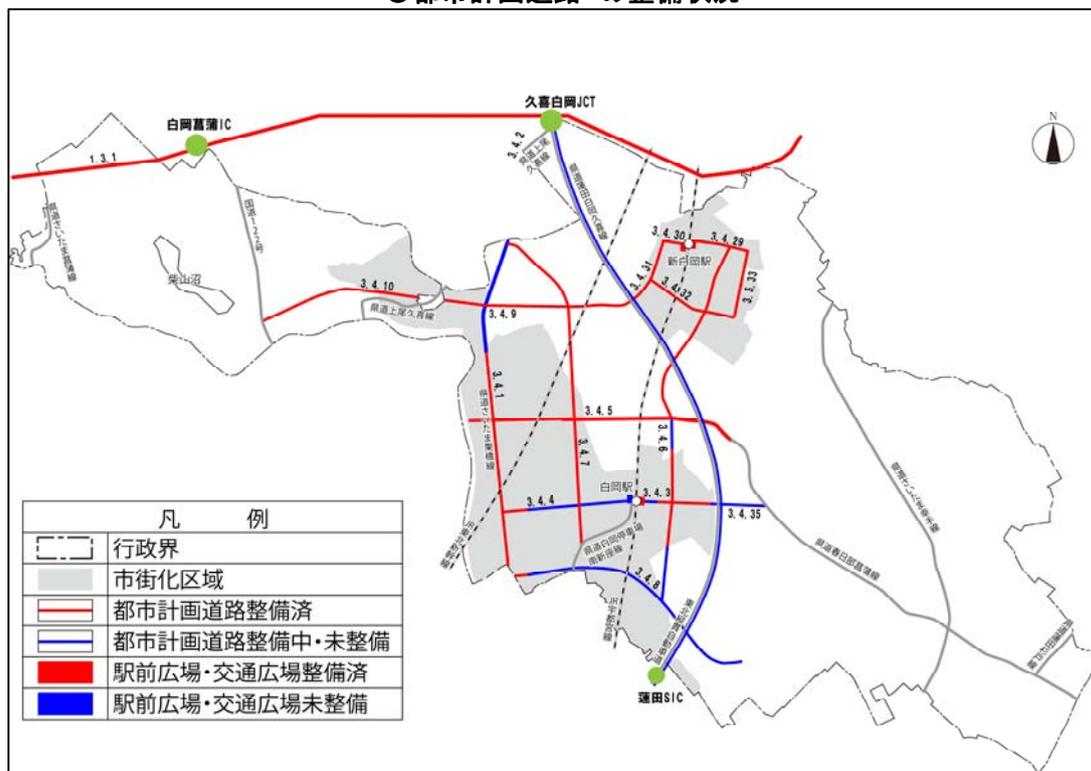
(2) 道路

道路は、国道1路線、県道8路線が通過して骨格を形成しています。

また、高速道路である東北道及び圏央道の利用については、市内に白岡菖蒲インターチェンジ、隣接する久喜市、蓮田市に久喜インターチェンジ、蓮田スマートインターチェンジがあり、広域交通の利便性が高くなっています。

平成28年（2016年）3月現在の都市計画道路*の整備状況は、約71.2%です。市街化区域内及びその周縁部を中心に都市計画道路*の整備が完了又は事業中であり、道路ネットワークは、市街地を中心に概ね構築されてきている状況にあります。

●都市計画道路※の整備状況



資料：都市計画道路※の整備状況図

(2) 緑地

地目別土地利用を見ると、農地の割合が多く、本市の緑地環境の特長となっています。一方で、山林の割合は少なく、主要な樹林地である屋敷林や社寺林は非常に貴重な緑地と言えます。これらの保全に向けて、「ふるさとの森」、「保存樹林」、「保存樹木」としての指定を行っています。

また、市街化区域内の農地等を将来にわたり保全するため、生産緑地地区の指定を行っています。

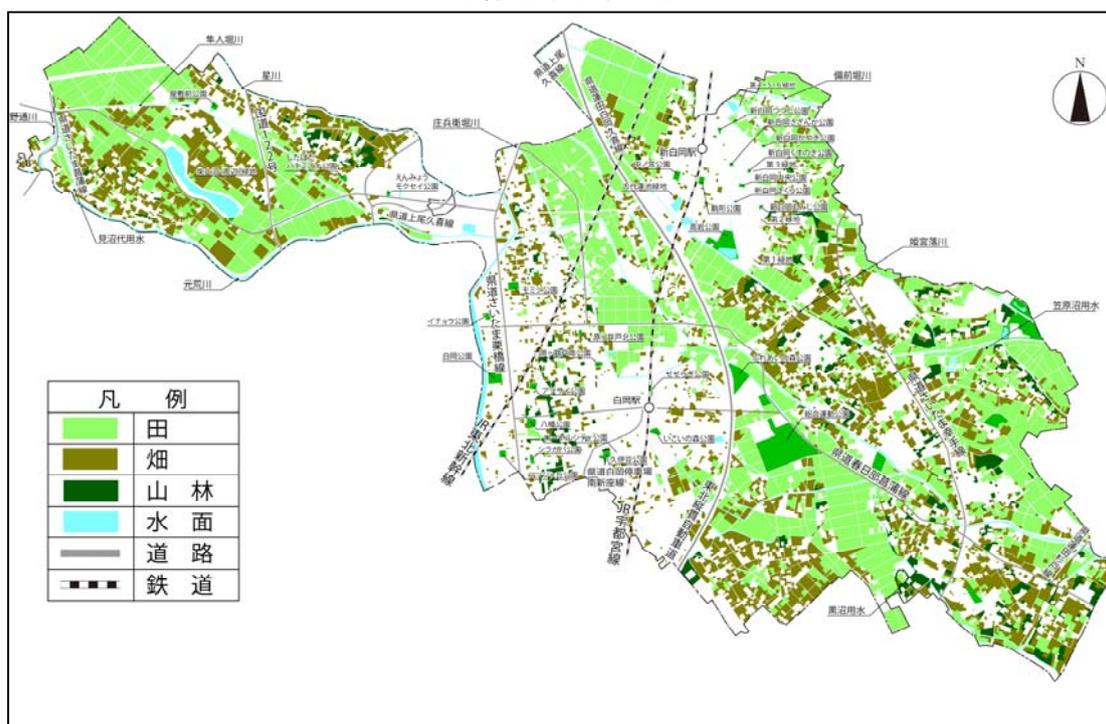
ふるさとの森：彦兵衛下小笠原遺跡ふるさとの森、白岡東地区ふるさとの森、

八幡神社^{しやうろう}社叢ふるさとの森

保存樹林・保存樹木：保存樹林9箇所、保存樹木7本

生産緑地地区：28地区、面積約4.15ha

●緑地等分布状況



資料：平成22年(2010年)都市計画基礎調査

(3) 公園

都市公園^{*}を含めた本市の公園数は30箇所であり、延べ24.6haが整備されています。

都市計画公園^{*}は、平成28年(2016年)3月現在13箇所、7.7haを都市計画決定し、11箇所、7.1haが供用開始されています。

7 下水道（汚水）

下水道は、人口が集中している市街化区域を中心に整備を進めており、平成27年度（2015年度）末時点で下水道普及率（全人口に対する、公共下水道供用開始区域内の人口の比率）は65.9%であり、下水道水洗化率（公共下水道供用開始区域内の人口に対する、水洗化（公共下水道※に接続している。）人口の比率）は94.5%となっています。

市街化区域を中心とする中央部地域は公共下水道事業、西部地域は農業集落排水事業※、その他の地域は合併処理浄化槽事業で整備を進めており、市全体では、平成27年度（2015年度）末時点で生活排水処理率（全人口に対する生活排水処理施設（主に下水道施設、集落排水施設、合併処理浄化槽※など）による生活排水の処理人口の比率）は、78.0%となっています。農業集落排水事業については柴山、大山の2地区の整備が完了し、供用が開始されています。

8 防災

東日本大震災や熊本地震により、災害に強いまちづくりを進める必要性が更に高まっています。

本市では、災害発生時に備え、避難所の確保や建築物等の耐震化を進めています。

避難所は市立小中学校を中心に指定避難所を16箇所指定するとともに、災害種別ごとに指定緊急避難場所を指定しているほか、避難所以外の支援避難所は自治会館や集会所など32箇所、福祉避難所は保健福祉総合センター（はびすしらおか）など4箇所を指定しています。また、白岡市建築物耐震改修促進計画に基づく重点的な整備により、市内すべての学校施設等の公共建築物の耐震化が完了しています。民間建築物は、改定白岡市建築物耐震改修促進計画により、平成27年（2015年）3月現在で耐震化率は94%であり、平成32年（2020年）までに95%を目標としています。

地域の防災力を向上させるためには、自分の身を自分の力で守る「自助」、地域や近隣の住民が互いに協力し合う「共助」の意識を醸成することの重要性が高まっている中で、自主防災組織は、平成28年（2016年）3月現在で26団体が設立され、組織率は79.6%となり、年々組織率は増加しています。

9 景観

本市では、都市化が進み、田園風景や水辺空間、名木、屋敷林などの貴重な景観資源が減少しつつある中で、埼玉県景観条例、埼玉県景観計画に基づき景観形成を図っています。

10 福祉

本市では、社会資本整備総合交付金[※]を活用し、白岡駅東口のエレベーターの設置や障がい者等乗降スペースの設置などを行いました。また、交通バリアフリー基本構想に基づき、新白岡駅周辺においてエレベーター等の設置を行いました。その他の地域については、道路改良新設事業と併せてバリアフリー化が進められ、順次、歩道環境の整備を進めています。

11 都市計画の概況

(1) 都市計画区域[※]

本市は、蓮田都市計画区域（5,220ha）に含まれ、内訳は蓮田市（2,728ha）及び白岡市（2,492ha）となっています。

(2) 市街化区域[※]及び市街化調整区域[※]

市街化区域[※]は約545haで、本市の中央部と新白岡駅周辺に指定されており、市域面積の21.9%を占めています。

市街化調整区域[※]は約1,947haで、主に本市の西部と東部に広い範囲で指定されており、市域面積の78.1%を占めています。

(3) 地域地区

① 用途地域[※]及び防火・準防火地域[※]

用途地域[※]の構成割合は、住居系82.1%、商業系4.3%、工業系13.6%となっています。

防火地域の指定は、新白岡駅の東口及び西口地区の近隣商業地域8.0ha、準防火地域の指定は、白岡駅東口の近隣商業地域3.2ha、白岡西部産業団地地区15.7haとなっています。

●用途地域※の指定状況

平成 28 年(2016 年)3 月現在

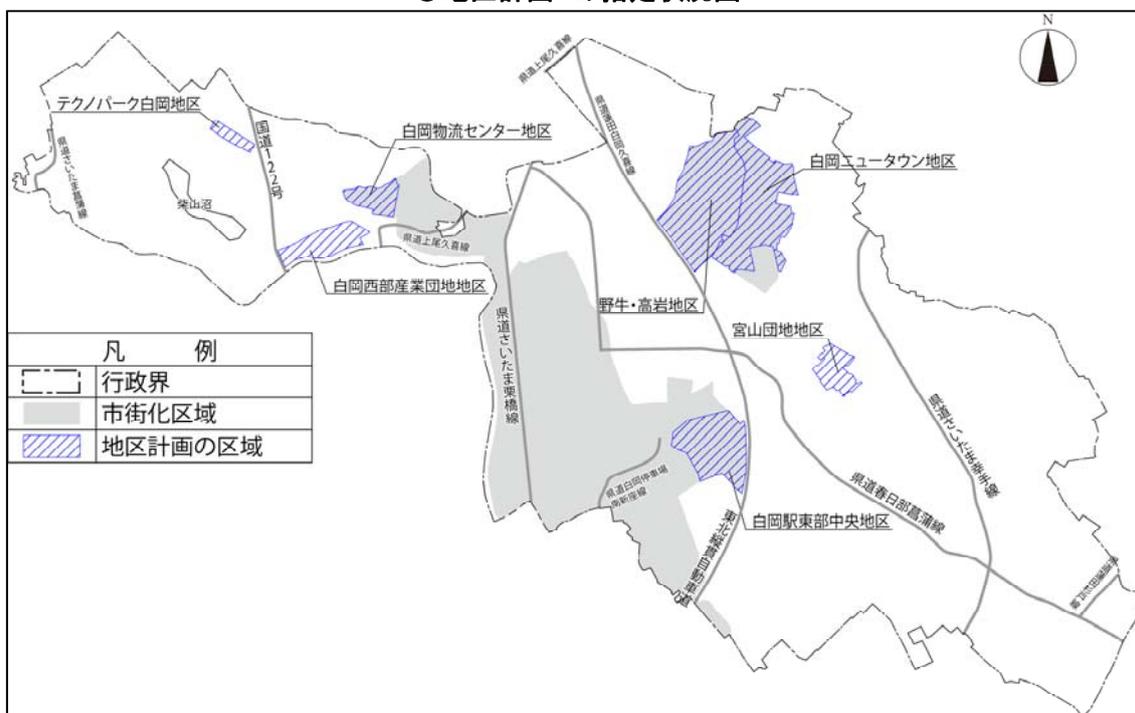
区 分		面積 (ha)
都市計画区域		2,492.0
市街化区域	第 1 種低層住居専用地域	38.3
	第 1 種中高層住居専用地域	72.8
	第 2 種中高層住居専用地域	140.9
	第 1 種住居地域	156.9
	第 2 種住居地域	10.3
	準住居地域	28.0
	近隣商業地域	16.2
	商業地域	7.0
	準工業地域	8.0
	工業専用地域	66.3
	市街化調整区域	1,947.3

資料: 街づくり課

② 地区計画※

地区計画※は、白岡ニュータウン地区約 46.8ha など住居系が 4 地区、テクノパーク白岡地区約 3.5ha など工業系が 3 地区の合計 7 地区が設定されています。

●地区計画※の指定状況図



●地区計画※の指定状況

地区名	決定・変更	面積 (ha)	用途地域	地区計画のねらい	地区計画 の動因
1 白岡ニュー タウン地区	S62.03.31決定 H07.02.07変更 H07.10.13変更 H28.09.30変更	約46.8	一低、二中高 一住、近商	戸建住宅を主体とした住 宅開発地区に、建築物等の 規制・誘導を行い、良好な 住環境の形成・保持を図る	市街化区 域編入
2 野牛高岩 地区	H07.02.07決定 H07.10.13変更 H28.09.30変更	約56.2	二中高、一住 二住、近商	土地区画整理事業の効果 を保持し、活力ある商業環 境と良好な居住環境の形 成を図る	土地区画 整理事業
3 テクノパーク 白岡地区	H10.03.02決定 H28.09.30変更	約3.5	市街化調整 区域のため 無指定	市街地環境が損なわれな いように、用途の混在を排 除し、秩序ある土地利用を 誘導する	環境事業 団による 整備
4 白岡駅東部 中央地区	H12.07.28決定 H28.09.30変更	約30.4	二中高、一住 近商	土地区画整理事業による 効果を維持・保全していく とともに、良好な商業環境 と住環境の形成を図る	土地区画 整理事業
5 宮山団地地区	H13.03.30決定 H28.09.30変更	約10.2 ※	市街化調整 区域のため 無指定	良好な住環境を維持・保全 するため、低層住宅区域を 定め、秩序ある土地利用を 図る	住環境の 保全
6 白岡物流 センター地区	H14.07.26決定 H28.09.30変更	約8.7	工専	周辺環境や景観に配慮さ れたゆとりある良好な工 業地を形成し、維持保全を 図る	市街化区 域編入
7 白岡西部 産業団地地区	H23.11.24決定 H28.09.30変更	約15.7	市街化調整 区域のため 無指定	周辺環境（田園環境）と調 和した産業基盤の計画的 な整備を図る	産業団地 整備

※宮山団地地区の開発区域面積は、10.5ha(H22都市計画基礎調査)であるが、地区計画の区域面積は約10.2haである。

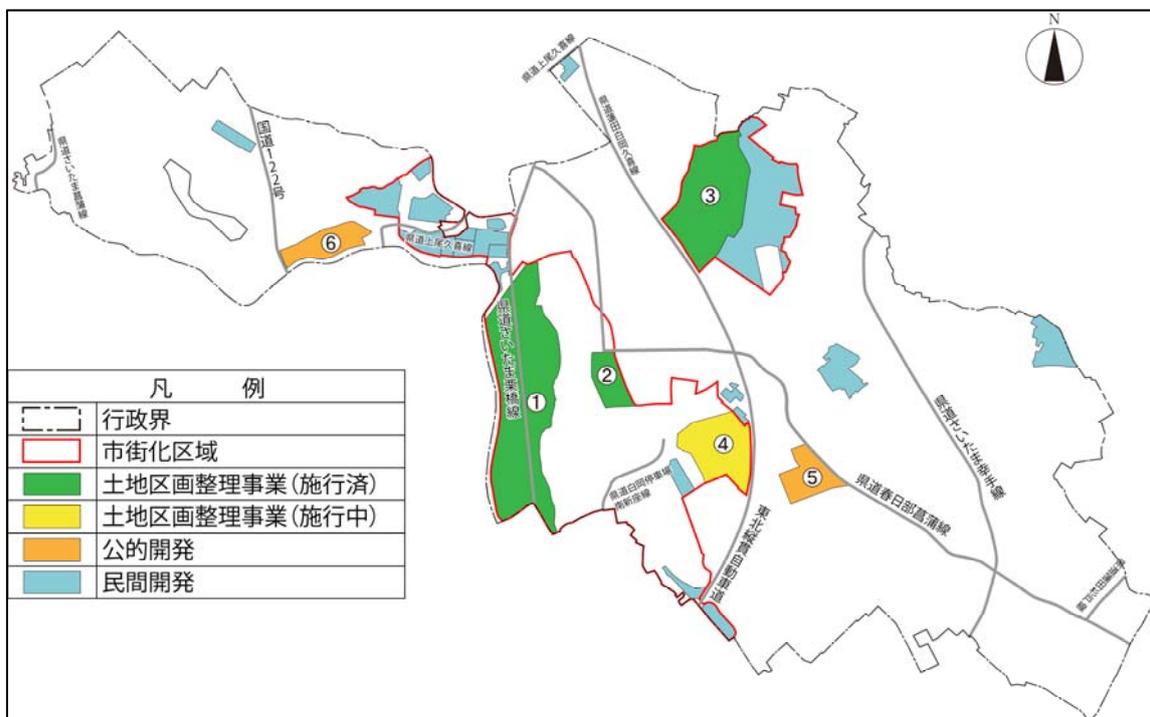
12 都市基盤整備状況

(1) 面整備の状況

土地区画整理事業※は公共施行により、白岡・篠津土地区画整理事業98.6haが昭和52年（1977年）に、原ヶ井戸・東土地区画整理事業11.9haが平成15年（2003年）に、野牛・高岩土地区画整理事業56.2haが平成27年（2015年）に完了し、白岡駅東部中央土地区画整理事業30.4haが現在施行中となっています。

民間による大規模開発等（開発区域面積10.0ha以上）は、宮山団地10.5ha、白岡ニュータウン49.5haなどがあります。

●市街地開発事業※等位置図



●市街地開発事業※等の状況

事業名	事業主体	施行年度		区域面積(ha)			計画人口
		開始	完了	計	市街化区域	調整区域	
1 白岡・篠津土地区画整理事業	白岡町	S44	S52	98.6	98.6	0.0	8,000
2 原ヶ井戸・東土地区画整理事業	白岡町	S61	H15	11.9	11.9	0.0	1,200
3 野牛・高岩土地区画整理事業	白岡町	S62	H27	56.2	56.2	0.0	4,800
4 白岡駅東部中央土地区画整理事業	白岡町	H08	H40	30.4	30.4	0.0	2,700
5 総合運動公園	白岡町	H07	H07	14.9	0.0	14.9	0
6 白岡西部産業団地	埼玉県企業局	H24	H25	15.7	0.0	15.7	0